

X外小內
線兒科科科

醫學博士 浅井 善實

愛生病院

北日本汽船株式會社嘱託

小樽市色内町八妙見川下
電話三五一番

X外內

耳鼻咽喉科科

肛門病科

三谷病院
院長 三谷清長

日本海員掖濟會嘱託

小樽市稻穂町東三丁目

電話四〇二番

X線科

小兒科
花柳病科

内科 小兒科 太田醫院

(入院應需)

小樽市稻穂町中央通り

醫學士 太田 稔

電話二九三〇番

一般內科
整形外科
花柳病科

入院應需
晝夜診療

醫學士 矢野 顯

電話一三二〇番

小樽市稻穂町東六丁目(電氣館前)

北日本汽船會社嘱託

北日本汽船會社嘱託

矢野外科

北日本汽船株式會社嘱託

日本海員掖濟會嘱託

小樽市中央通

岩城病院

外科・花柳病科

北日本汽船會社嘱託

整骨専門

織田療院

小樽肛門療院

院長

佐々木仲二

◎入院隨時◎

小樽市公園通
電話二八五番

北海道拓殖銀行小樽支店

資本金
諸積立金
壹億五千萬圓
七千百萬圓

(昭和拾貳年一月現在)
小樽市色内町五丁目二十一番地



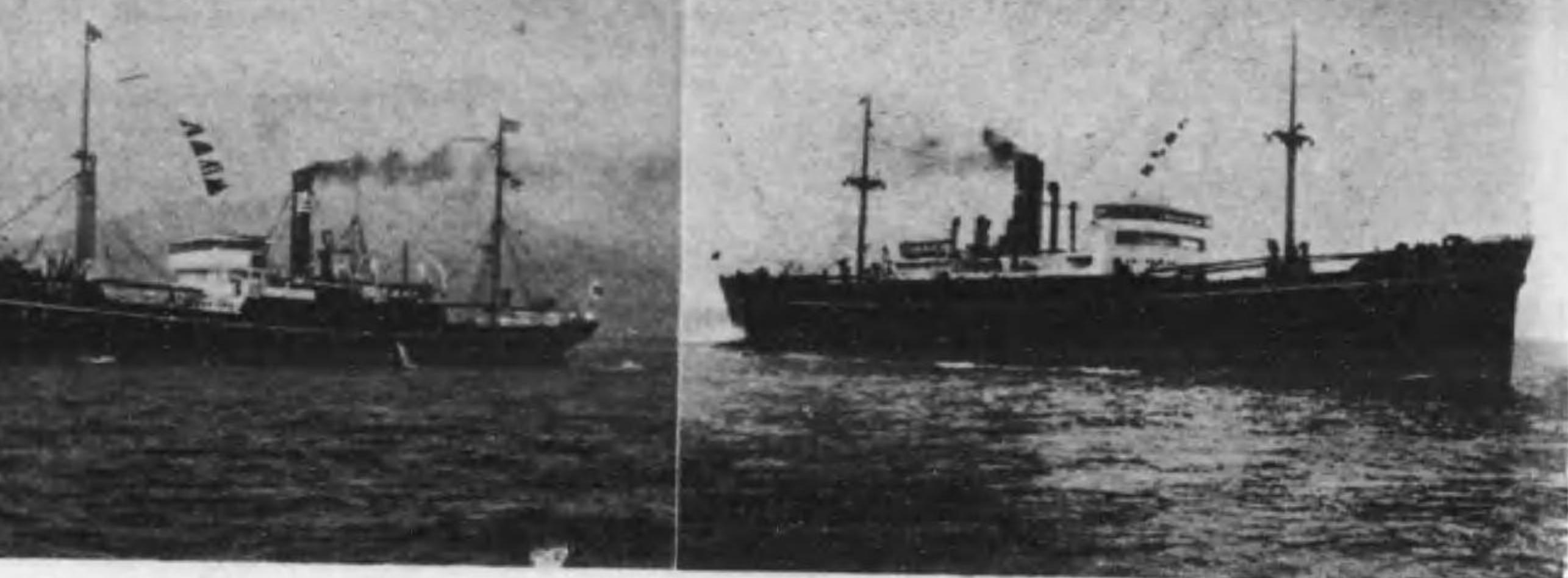
株式
會社

安田銀行小樽支店

電話特國三九番・七二六番

稻穂町出張所 振替口座一四八四番
小樽市稻穂町東八丁目 電話一八六二番

本店 東京市麹町區大手町
支店 全國二亘り百三十六ヶ所



九 豊 昭 北

御乗船案内

乗船御申込

乗船切符は弊社出張所、代理店及各地ジャパン・ツーリスト・ピューロー等にて發賣致しますが、一、二等は成るべく數日前から船室の御申込を御願ひ致します。團體の御旅行は特に御相談に應じ又御旅行プランの作成も致します。

乗船の御方は通常出帆の定刻より一時間前から御乗込み願ひます。

船車連絡切符は非常に便利であります。一度此の切符を御求めになれば乗換乗継等の場合切符の買替、手荷物の預け換へ等の手數も省け手軽に御旅行が出来ます。切符は各航路該當各主要驛及ジャパン・ツーリスト・ピューロー又はトーマス・クック（歐亞連絡のみ）等にて發賣致します。（船車連絡切符發賣驛店欄参照）

船客運賃 小兒運賃は別表に依り申受けます。
未満半額、十二歳以上は大人並であります。

運賃割引規定

運賃割引規定は個人及普通團體、特別團體等の區別があります。各航路に依つて夫々相違し、個人割引規定の如きは軍人、官吏、教職員、學生等廣汎に亘りますから切符御購入の際にお尋ね下さい。但し所屬長官、學校長又は代表者の身元證明書を要しますからお忘れなく御用意下さい。



内國一般業務
外國爲替業務
株式会社

三井銀行小樽支店

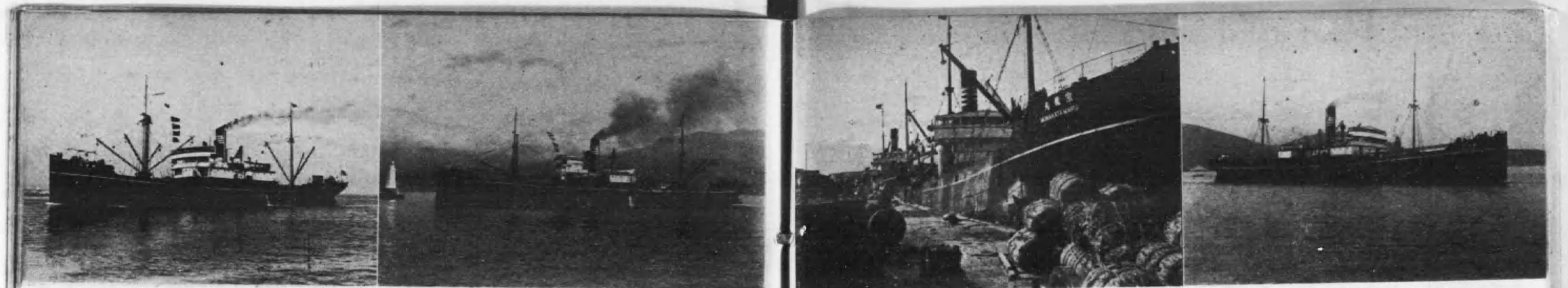
本店 東京市日本橋區室町
内地支店 日本橋(東京) 丸之内(東京)
横濱 名古屋 名古屋上前津
京都 大阪 大阪川口 大阪堂島
大阪西 神戸 廣島 島門 司
若松(九州) 福岡
スラバヤ 上海 大連 孟買
倫敦 紐約

電話 三一五五番
振替貯金口座 小樽三番

第一銀行小樽支店

電話 (代表)四〇五〇番
振替貯金小樽壹番

資本金 五千七百五拾萬圓 (拂込済)
諸積立金 七千百五拾萬圓



青龍丸

豊崎丸

宗像丸

海福丸

手荷物
半量) 但し左記物品は手荷物として取扱を致しませぬ。
家具商品及臭氣等を發するもの、席包、被包、長尺物、重量品、形態粗大
荷造粗雑なるもの、寶石類、金銀、有價證券、美術品等の貴重品

手荷物

手荷物の無貨制限量は左表の通りであります。(小兒は半量)

但し左記物品は手荷物として取扱を致しませぬ。

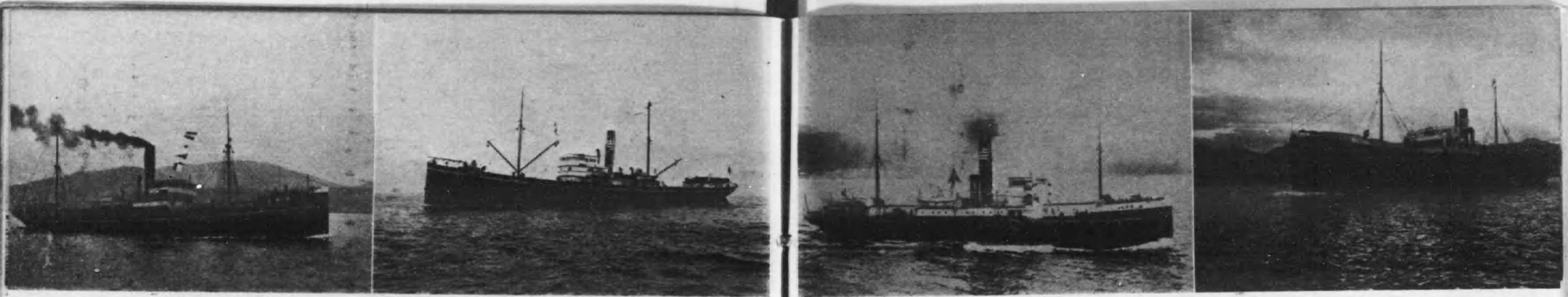
(小兒は半量)

家具商品及臭氣等を發するもの、席包、被包、長尺物、重量品、形態粗大

荷造粗雑なるもの、寶石類、金銀、有價證券、美術品等の貴重品

等級	社船制限量		
	各線	敦賀浦潮相互間	船員便路 於ける社
一等	二〇才、二五斤 (九〇冠)	八〇冠又は 〇・六立方米	六〇冠
二等	一五才、三〇斤 (七〇冠)	七〇冠又は 〇・四立方米	四〇冠
三等	一〇才、六〇斤 (五〇冠)	五〇冠又は 〇・三立方米	三〇冠

超過運賃



九 福 荣 榮

九 州 温 州

九 鈴 谷 谷

九 州 福 州

樺太側驛

三二四

樺太廳西海岸線：本斗、廣地、手井、真岡、北真岡、蘭泊、羽母舞、小野登呂、野田、追手、泊居。豐真線：中野、清水、達坂、二股。川上線：川上炭山。東海岸線：大泊港、大泊、一ノ澤、三ノ澤、貝塚、新場、中里、豊南、大澤、豊原、北豊原、小沼、富岡、深雪、大谷、落合、榮濱。

黒石線各驛。五所川原線各驛。能代線各驛。船川線各驛。生保内線各驛。羽越線：各驛。磐越線：會津若松、五泉。陸羽線：陸羽西線各驛。石卷線各驛。信越線：新潟直江津間各驛。北陸線：各驛。福井直江津間各驛。福井直江津間各驛。新湊、水見、福光、城端、福野、出町、戸出、伏木、七尾、羽咋、敷浪、高松、武生、敦賀。東海道線：東京、横濱、靜岡、名古屋、岐阜、大津、京都、大阪。

北海道線：各驛。東北線：青森福島間各驛。大湊線各驛。鹽釜線各驛。郡山、平、水戸、浦和、宇都宮、上野、新宿。奥羽線：奥羽本線各驛。

尚切符御購入の際は必ず「北日本汽船經由」又は「稚斗航路經由」と御指定になりませんと往々大泊廻りの迂回線となり高價につく事がありますから御注意下さい。

内地側驛

連絡乗車船券は左記各驛並各本社青森、稚内両出張所、室蘭本斗兩代理店及各地ジャパン・ツーリスト・ピューロー案内所等で發賣致します。

北海道線：本斗、廣地、手井、真岡、北真岡、蘭泊、羽母舞、小野登呂、野田、追手、泊居。豐真線：中野、清水、達坂、二股。川上線：川上炭山。東海岸線：榮濱、落合、大谷、深雪、富岡、小沼、北豊原、豊原、大澤、豊南、中里、新場、貝塚、三ノ澤、一ノ澤、大泊、大泊港。

樺太側驛

連絡乗車船券は左記各驛並各本社青森、稚内両出張所、室蘭本斗兩代理店及各地ジャパン・ツーリスト・ピューロー案内所等で發賣致します。尚切符御購入の際は必ず「青蘭航路經由」又は「北日本汽船經由」と御指定になりませんと往々函館廻りの迂回線となり高價につく事がありますから御注意下さい。

内地側驛

本州線：（庄原線、福鹽北線、大糸南線、紀勢中線を除く）各驛。九州線：（古西江線、油津線を除く）各驛。四國線：豫讐線各驛、高德線各驛。土讚線各驛。北海道線：各驛。

樺太側驛

西海岸線：本斗、廣地、手井、真岡、北真岡、蘭泊、羽母舞。小野登呂、野田、追手、泊居。豐真線：中野、清水、達坂、二股。川上線：川上炭山。東海岸線：榮濱、落合、大谷、深雪、富岡、小沼、北豊原、豊原、大澤、豊南、中里、新場、貝塚、三ノ澤、一ノ澤、大泊、大泊港。

尚切符御購入の際は必ず「北日本汽船經由」又は「敦賀經由」と御指定になりませんと往々間違ふ事がありますから御注意下さい。

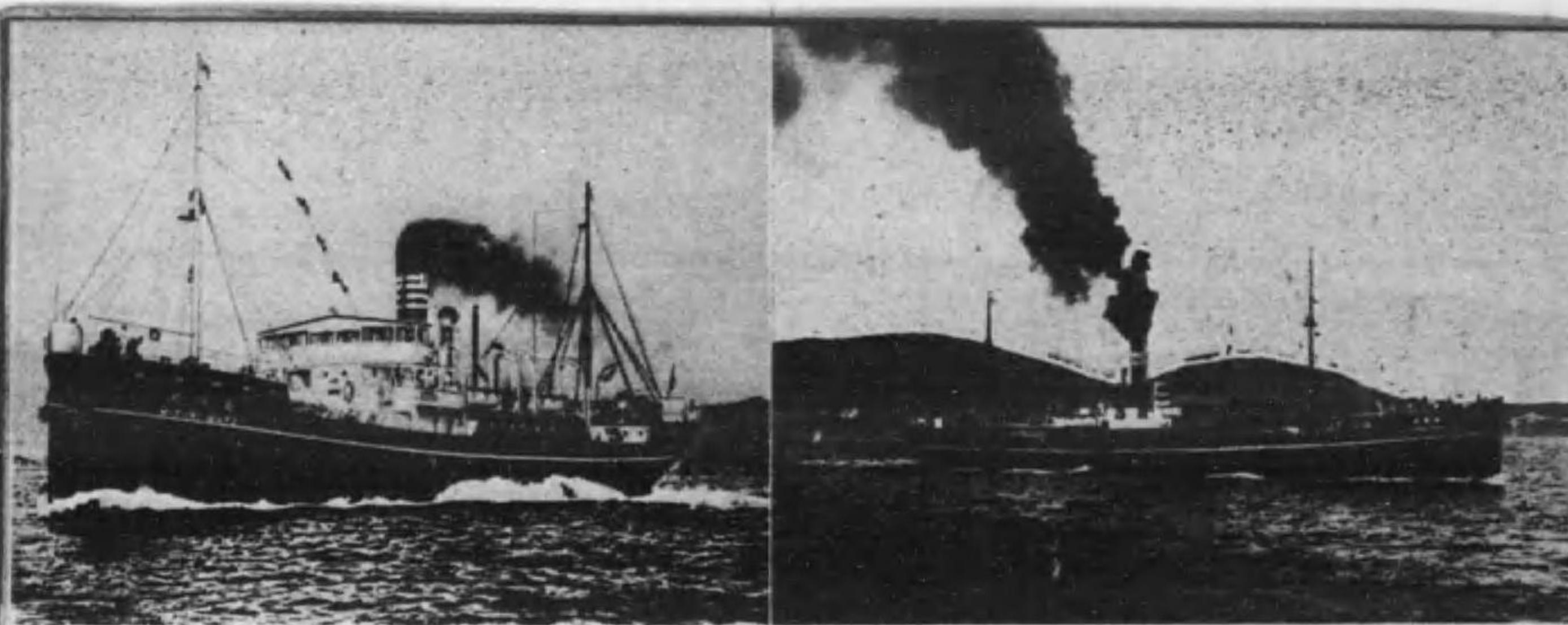
日滿連絡

内地側各驛中※印は内鮮満間乗車船券發賣驛、○印は内鮮間乗車船券發賣驛、+印は内地北鮮三港（清津、羅津、雄基）間乗車船券發賣驛、△印は内鮮満間乗車船券發賣驛、□印は内鮮間乗車船券發賣驛。

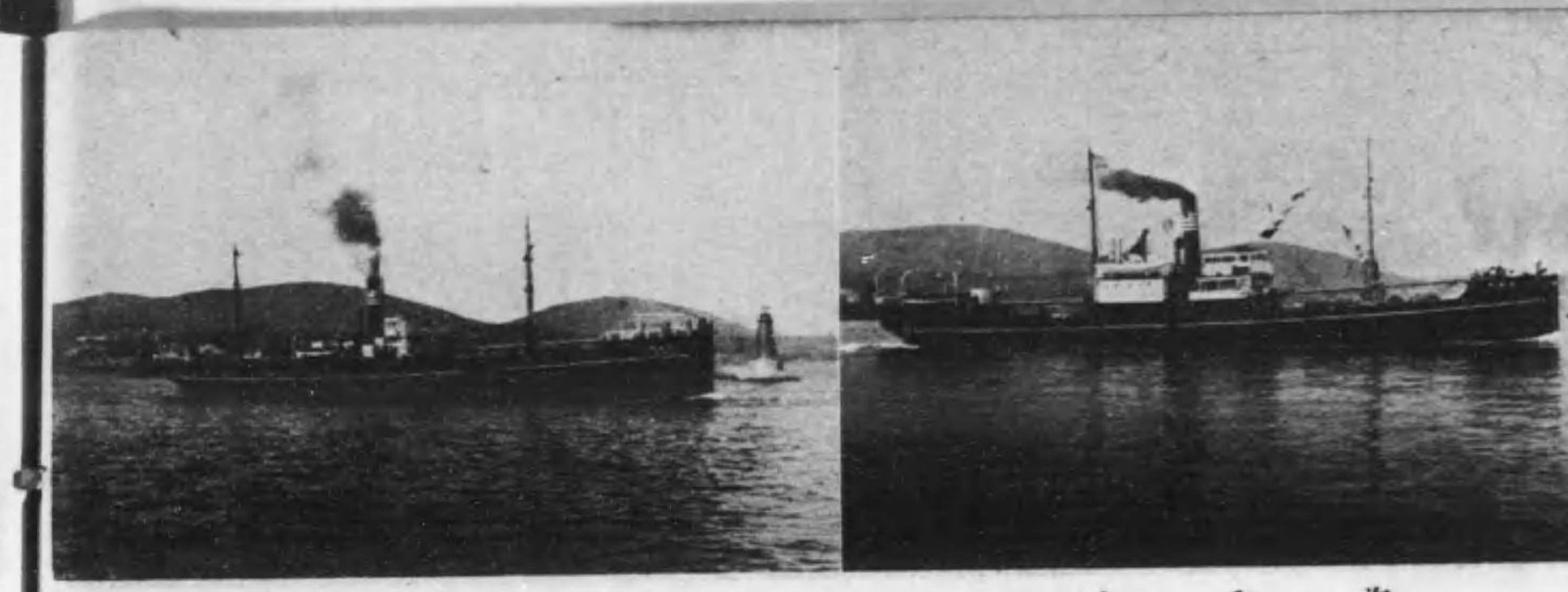
尚切符御購入の際は必ず「北日本北鮮航路經由」又は「敦賀經由」と御指定になりませんと往々間違ふ事がありますから御注意下さい。



三二五



丸國三 丸岡真



丸 海 紅 丸 和 海

印は日滿間乗車船券發賣驛です。

(内地) 北海道線：○稚内港、※旭川、○釧路、○帶廣、○岩見澤、※札幌、※小樽、○室蘭、※函館。東北線：※青森、○盛岡、※仙臺、○福島、○郡山、※水戸、○足利、※上野、○秋葉原、△新宿、○山手線各駅。總武線：+△千葉、+△兩國。奥羽線：○弘前、※秋田、※山形、○米澤。羽越線：○鶴岡。磐越線：○會津若松。信越線：※新潟、○長岡、○長野。中央線：+甲府。北陸線：※金澤、※富山、○米原直江津間各驛、○小濱線各驛、○三國線各驛、○七尾線各驛、○中越線各驛、○水見線各驛、○新湊線各驛、※福井、※敦賀。高山線：○富山高山間各驛。東海道線：※東京、+有樂町、※新橋、※品川+大井町、+川崎、※横濱、※横須賀、※靜岡、※濱松、※豊橋、※名古屋、+一宮、※岐阜、+十大垣、○米原神戸間各驛、※京都、※大阪、※三宮、※神戸、+中山寺、+野田。關西線：+湊町。山陽線：○神戸、姫路間各驛。※明石、※姫路、※岡山、○倉敷、+△福山、※尾道、※廣島、+△吳、○柳井、○三田尻、※下關。山陰線：○舞鶴線各驛、○綾部、○福知山、○豐岡、※鳥取、※米子、○安來、※松江、○出雲今市○境港、○大社、+正明市。四國線：○高松、○松山。九州線：△門司△八幡、△博多、△佐世保、△長崎、△久留米、△別府、△熊本、△鹿兒島、△西鹿兒島。

(朝鮮) 咸鏡線：輸城咸興間各驛。滿鐵北鮮線：圖們、鶴林、雄基清津間各驛。京元線：元山、京城。

(滿洲) 京圖線：圖們、延吉、朝陽川、老頭溝、明月溝、敦化、蛟河、吉林、新京。圖佳線：東京城、寧安、牡丹江。朝開線：上三峰、龍井。拉濱線：濱江(ハルビン)。奉吉線：奉天總站、山城鎮、海龍、朝陽鎮、盤石。濱綏線：綏芬河、一面坡、哈爾濱。濱北線：濱江、海倫、北安。

奉天—奉天總站、新民、大虎山、溝帮子、錦縣、綏中縣、山海關。北
票線：金嶺寺（口北營子）、北票。連京線：公主嶺、四平街、開原、鐵嶺
奉天、撫順、蘇家屯、遼陽、鞍山、海城、大石橋、營口、瓦房店、普蘭
店、金州、沙河口、大連、旅順。安奉線：本溪濱、安東。

日本—浦潮間：東北線：上野、仙臺、盛岡、青森。
秋田、弘前。羽越線、鶴羽。磐越線、十日町、新潟。

國玉記

ウエルドルフスク、イルクーツク、ノウオシビルスク、オムスク、ス
ガ、カウナス、※ストルブツエ、ワルン、※ロツヴ、※ボズナン、※
ズバシュイン、※ホイニツエ、※チエフ、※ダンチツヒ、※グデイニヤ
ブラーク、※カルルスバード、※マリエンバード、維納、伯林、ハンブ
ルグ、アルトナ、※ライプチッヒ、※ミュンヘン、※ケルン、※アーヘ
ン、※ストックホルム、※ゲテボルグ、※マルメ、※アムステルダム、※ハ
ーゲ、※ロツテルダム、巴里、倫敦、※ベニス、※ミラノ、※ゼノア、羅馬等。
本券は通用期間二ヶ月で、汽船一割乃至二割引、汽
車二割引の上種々の特典のある便利な切符で鐵道省
朝鮮鐵道局、南滿洲鐵道、北鮮鐵道管理局及鐵路總局鐵道指定驛並弊社敦
賀代理店等で發賣致します。通過經路の内弊社就航路關係は左記の通りで
御旅行の目的に應じ格好の經路が選定せられます。



本道産住友炭

上歌志内炭 歌志内炭 新歌志内炭
奔別炭 唐松炭

住友炭礦株式會社小樽支店

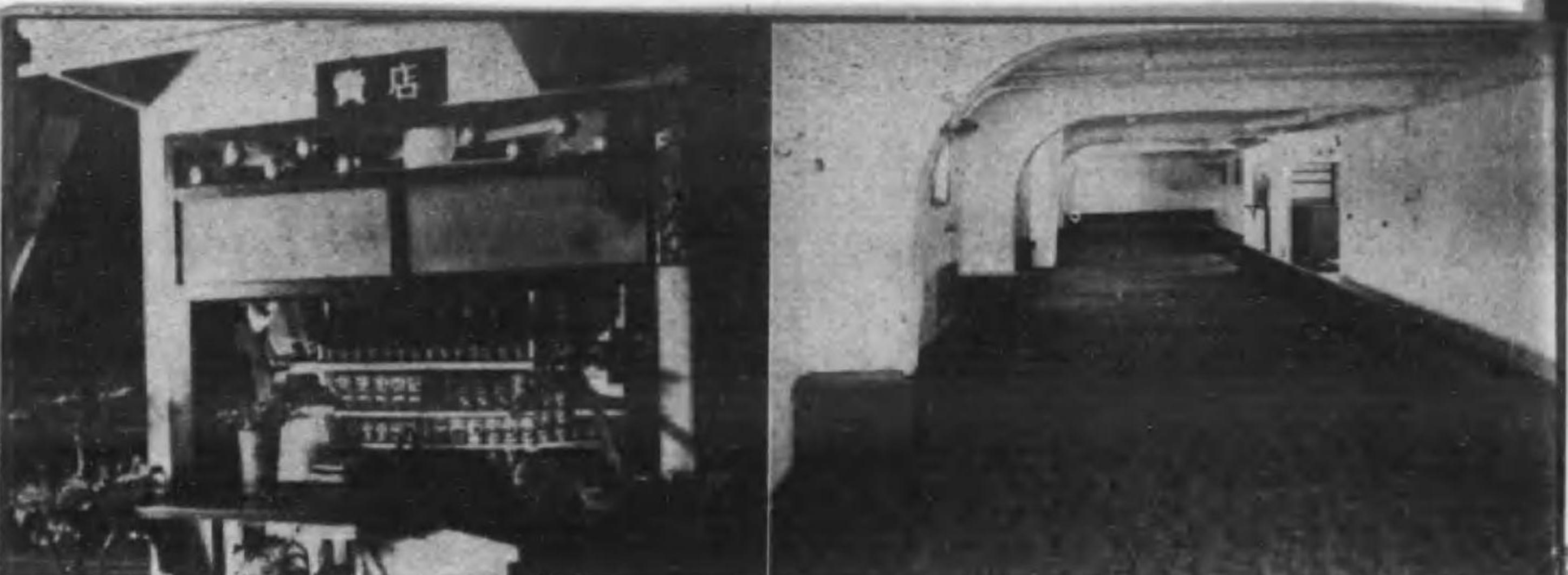
小樽市色内町八丁目 札幌出張所 札幌市北一條西三丁目
代表電話二番二二番 室蘭派出所 室蘭市泉町



御乗船約則

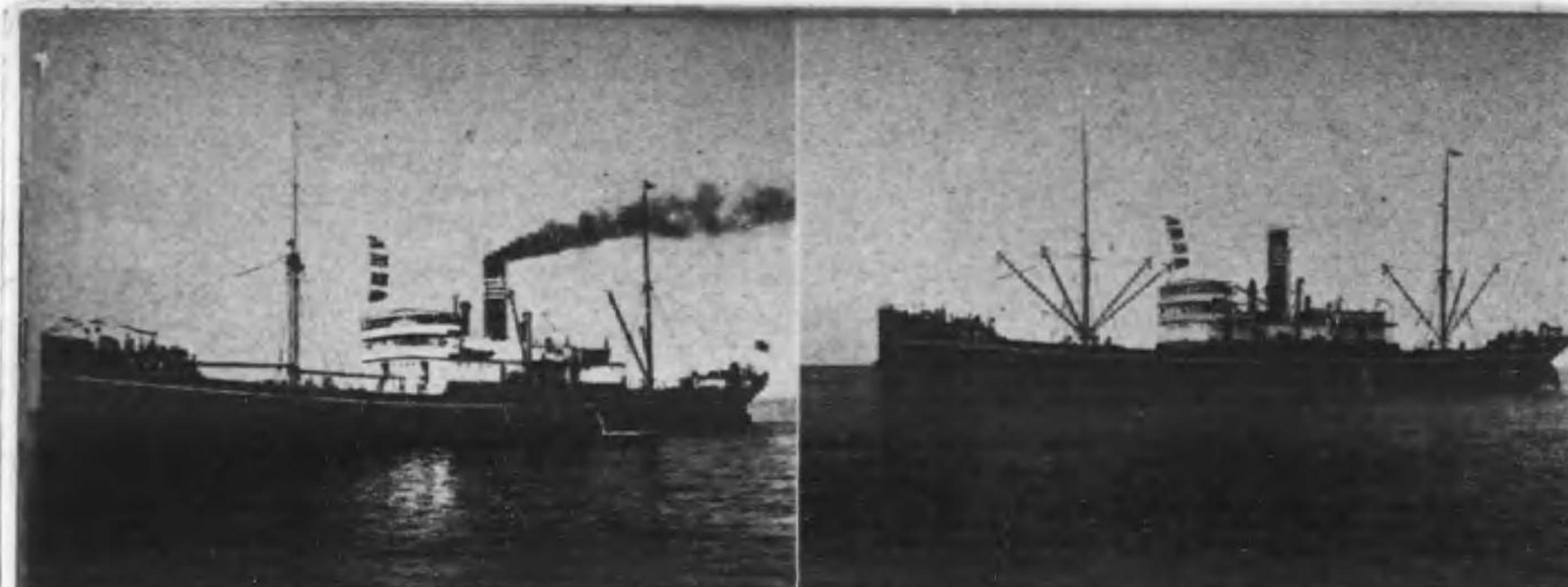
船客御注意

- 一、各乗船切符通用期間は其の航海限りで、所持人乗船せられぬときは本船出帆後二十四時間以内に發賣所へ御提出ありたる場合に限り壹割引にて御買戻致します。（浦鹽航路は二割五分引）
- 二、各乗船切符は他人に譲渡することを御断り致します。
- 三、船客の都合により當該乗船切符以上の等級に變更御要求の節は運賃の差額を受取り新に切符を發行致します。切符面以下の等級に變更御要求の節は一割引にて該乗船切符を申受け新に切符を發行致します。
- 四、無切符にて御乗船の方は船内に於て發行する船中直取切符を御求め願ひます。但し運賃は定額の壹割増にて申受けます。
- 五、無切符にて乗船の方で乗船地を確認することの出來ぬときは第四項に準じ本船初發地よりの運賃を申受けます。
- 六、切符面以外の地に御乗越希望の方は御乗船地より御上陸迄の運賃と既納運賃との差額を御支拂の上船内直取切符を御求め願ひます。
- 七、天災事變其の他の事故により出帆を延期するか又は途中より引返すか或は代船に御轉乗をお願ひすることもありますが之に因て生ずる費用は船客に於て御負擔願ひます。
- 八、航海中三港に限り各港五日以内の期間に於て中間港に便宜御上陸の上同一切符を以て他の新船に御乗継することは差支ありませんが此の場合に於ては乗船切符面に其事由を明記し當該船長の署名捺印を御求め願ひます。但し割引船客に對しては途中乗継は御断り致します。
- 九、中間寄港地に於て乗遅れたときは乗船切符は前途無効であります。



新丸高賣店

室等三九やりべいさ

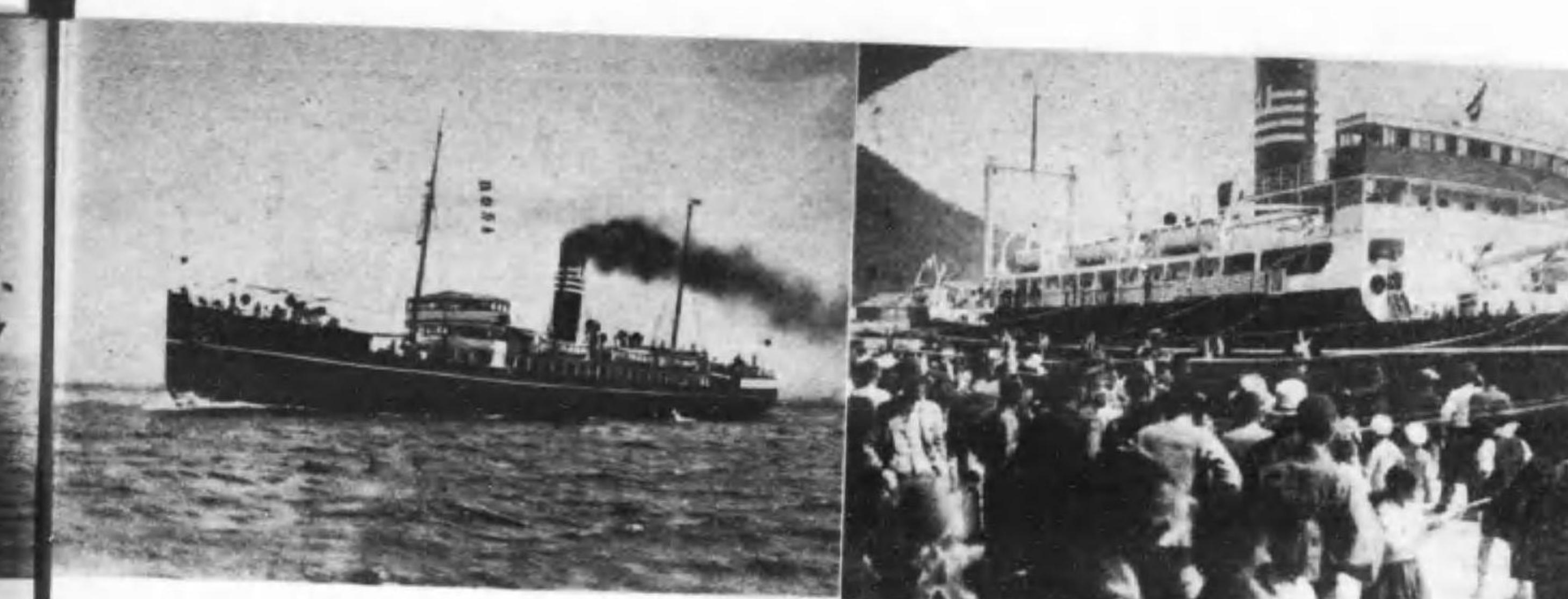


九 京 南 九 南 安

小樽營業所	小樽市南濱町四丁目一番地(營業本部)	京都	京都市梅小路驛前
眞岡出張所	樺太眞岡港本町一丁目四六	大阪	大阪市北區宗是町
泊居在勤員	樺太泊居郡泊居港 泊居回漕店內	大阪(扱)	大阪市北區曾根崎
惠須取出張所	樺太惠須取港本町一丁目	神戶(扱)	神戶市江戸町一〇
稚内出張所	北海道稚内港北濱通四丁目	神戶	神戸市神戸區海岸通
函館在勤員	函館市仲濱町 共同回漕店内	宇野	岡山縣宇野町
青森出張所	青森市新安方町八三番地	尾ノ道	尾ノ道市西濱町
新潟在勤員	新潟市沼垂町龍ヶ島	宇品	廣島市宇品町
新潟運送船株式會社出張所内	新潟運送船株式會社出張所内	岩國	山口縣岩國町
東京在勤員	東京在勤員 東京市麴町區内幸町 大阪ビル内	坂出	香川縣坂出町
伏木在勤員	富山縣伏木港湊區 三ツ輪回漕店內	觀音寺	香川縣三豊郡觀音寺町
敦賀在勤員	福井縣敦賀港棧橋 大和田回漕部内	下關	下關市東南部町
大阪在勤員	大阪市北區宗是町 大阪ビル内	門司	門司市港町
清津在勤員	清津府北星町 國際運輸會社支店內	釜山	釜山府大倉町一丁目
代理店及荷扱所(扱)	代理店及荷扱所(扱)	木浦	朝鮮木浦府海岸通
東京	東京市麴町區内幸町一丁目	群山	朝鮮群山府本町一丁目
横濱	横濱市中區本町住友ビル内	仁川	朝鮮仁川府濱町一丁目
清水	清水市港町四丁目	鎮南浦	朝鮮鎮南浦府旭町
半田	愛知縣半田町	三陟	江原道三陟郡三陟港
名古屋	名古屋市西區船入町二丁目	元山	朝鮮元山府海岸通
共同運輸會社	共同運輸會社	京都	京都市高砂町海岸通二
元山	元山	大阪	大阪市北區宗是町

本社代理店取扱店

貴社の本社は創立當時の事情により神奈川に在りますが事實上の本社は小樽であります
本社關係の要件は小樽營業所宛に御照會を御願ひ致します



況狀帆出之船客

一一、父母又は保護者と同行の小兒四歳未満は一人に限り無貨、一人以上は一人毎に定額運賃の四分の一額、十二歳未満は定額運賃の半額を申受けます。

六、検疫停船中の食料及其の他の費用は船客に於て御負擔願ひます。以上の外船客御注意等船内諸般の掲示を御高覽願ひます。以上



右の外船内の秩序取締に就ては船長の申出を御遵守下さるやうお願ひ致します。

三三二

御使用すること。

ハ、船内に於て風紀を害し他の乗客の御迷惑となるべきこと。

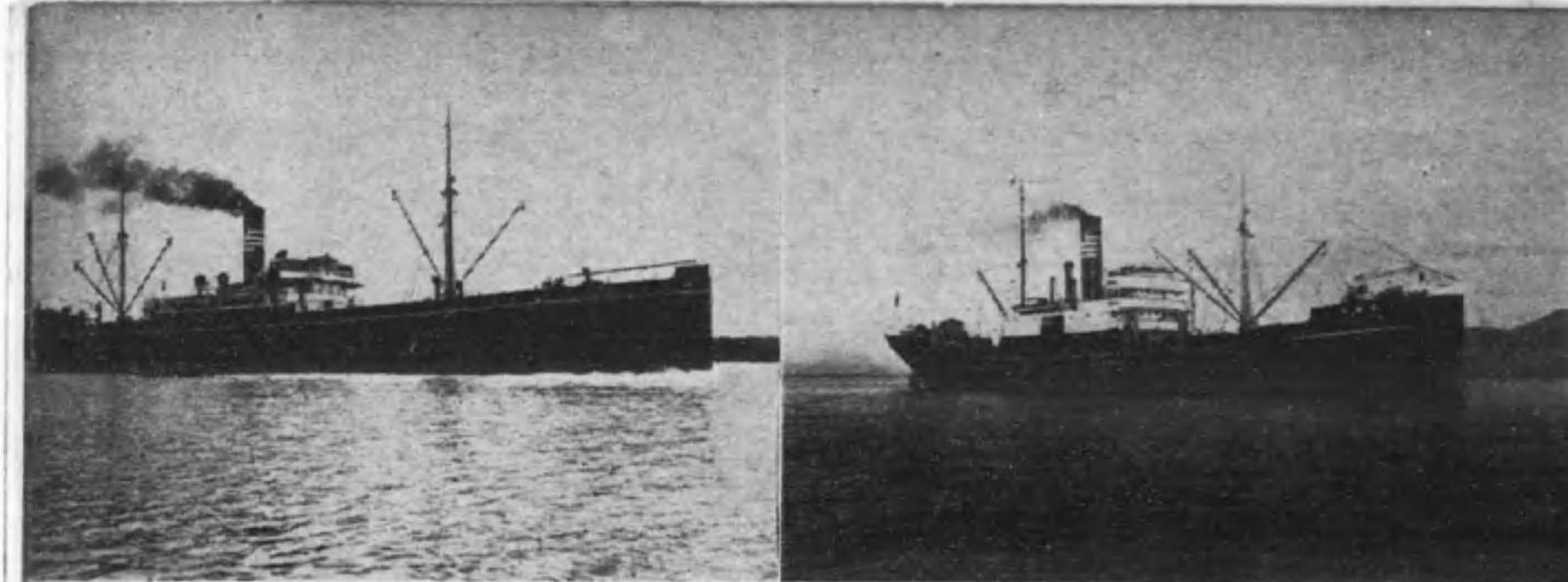
ニ、金銀貨幣等其他貴重品を御手荷物として御持込むこと。

ホ、船内に火薬、爆發物其他危險の虞ある物を御携帶すること。

ミ、船員執務の箇所に御立入ること。

モ、執務中の船員に交話すること。

シ、船中より港灣其の他の撮影、模寫等を
シの筋より嚴禁せられたる箇所がありま
から撮影、模寫等御希望の節は豫め船
に御問合せ下さい。



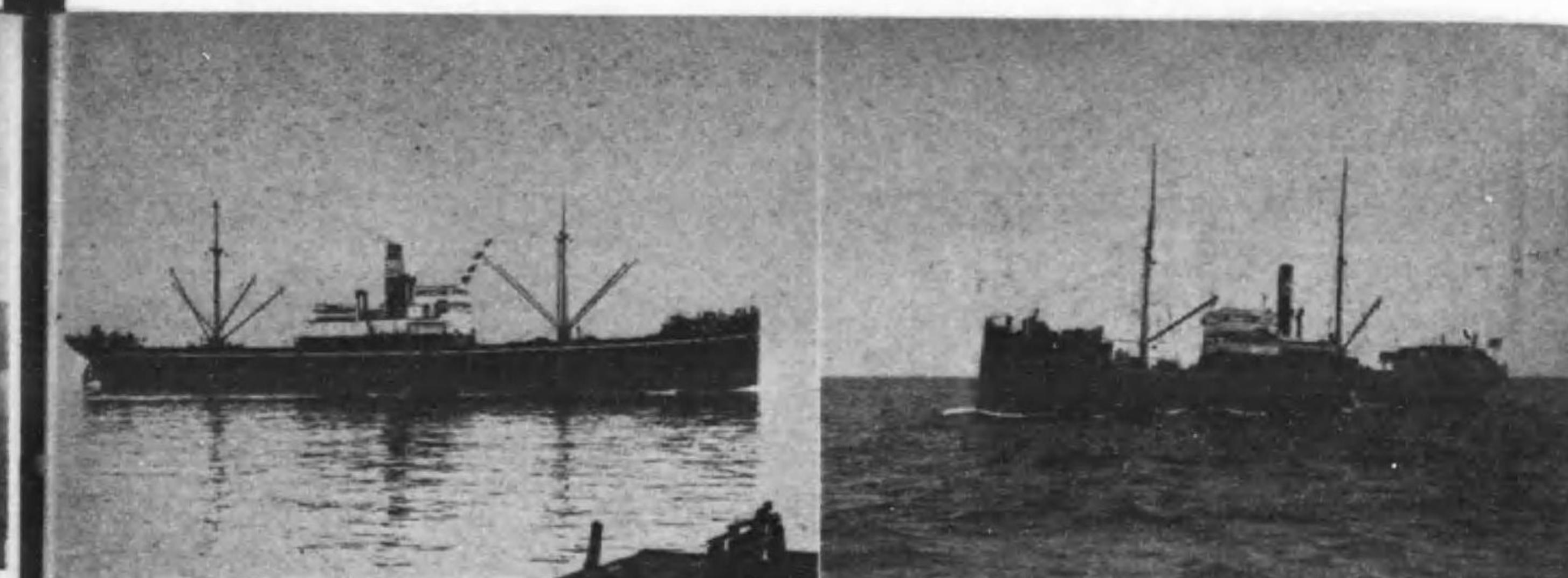
丸 前 越

北海道	東九	西九	關九	中九	關九	本分室
札幌鐵道局內	羽越	信州	中部	西部	東部	東京驛前
仙臺鐵道局內	新潟鐵道局內	門司鐵道局內	廣島鐵道局內	大阪東區安土	名古屋中區榮	東京驛內
東北	東海道	東北	東北	東北	東北	神田驛前
◎支部						

ジャパン・ツーリスト・ビューロー案内所

東日仙函小札	臺滿朝
京光臺森館櫈幌	鮮洲潤
今井吳服店內	奉天住吉町
今井吳服店內	臺灣總督府交通局鐵道部
松木屋內	朝鮮總督府鐵道局內
三越內	案內所
金谷ホテル内	◎
東京驛降車口、同乘車口	

神田驛前、帝國ホテル内、丸ビル内南口、三越内、松屋内、松坂屋内、白木屋内、高島屋内、新宿三越内、丸ノ内ビル鮮滿案内所内、伊勢丹内	横濱、横濱貿易協會内、野澤屋内	箱根、富士屋ホテル内	名古屋、名古屋驛内、廣小路、松坂屋内	岐阜、丸物支店内	金澤、大丸内
--	-----------------	------------	--------------------	----------	--------

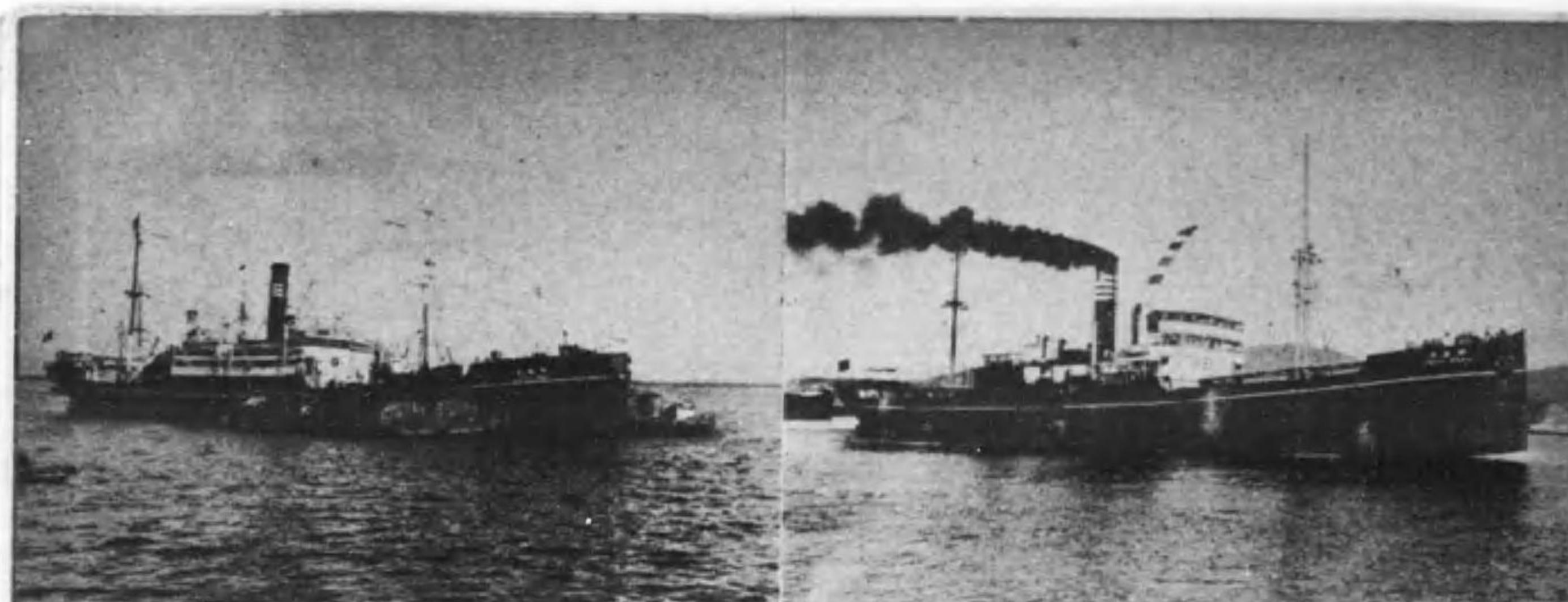


七 七 王

元山(扱)	朝鮮元山府海岸通
興南	咸鏡南道咸洲郡興南邑
西湖津	咸鏡南道咸洲郡西湖津港
新城	咸鏡北道城津邑本町
清津	清津府北星町
羅津	朝鮮羅津府本町
雄基	朝鮮雄基邑本町
浦潮	蘇國浦潮斯德 <small>滿洲國哈爾濱市埠頭區道裡地段街</small>
境	烏取縣西伯郡境町
哈爾濱	哈爾濱
舞鶴	京都府加佐郡舞鶴町海岸
新舞鶴	京都府加佐郡新舞鶴町
敦賀	福井縣敦賀市棧橋
福井(扱)	福井市城町
七尾	石川縣鹿島郡七尾町
伏木	富山縣射水郡伏木町湊區
東岩瀨	富山縣上新川郡東岩瀬町
滑川	富山縣中新川郡滑川町
魚津	富山縣下新川郡魚津町
直江津	新潟縣中頸城郡直江津町
新潟	新潟市緣町
夷	新潟縣佐渡郡兩津町夷港
河原田	新潟縣佐渡郡河原田町
澤根	新潟縣佐渡郡澤根町
小木	新潟縣佐渡郡小木町

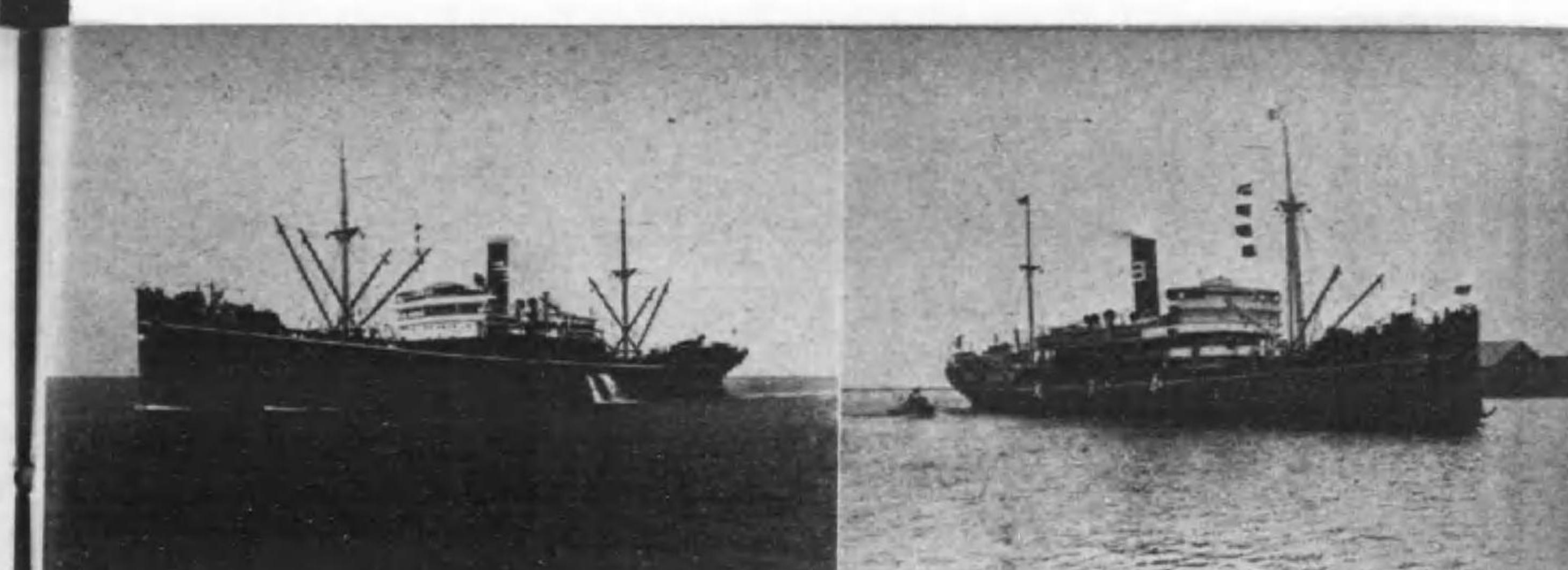
朝鮮運送會社支店
富田商會支店
北鮮商船組出張所
國際運輸會社支店
國際運輸會社支店
浦潮商船組
浦潮商船組出張所
岡田回漕店
渡邊回漕部
二谷運送倉庫會社
大和田回漕部
是則運送店支店
橋爪商事株式會社
三ツ輪回漕店
藤田回漕店
共和組回漕店
高橋達太
新潟運送船株式會社
佐渡運送株式會社
佐渡運送會社支店
佐渡運送會社支店
鍋屋回漕店

葛西回漕店 奥七回漕店 中川合資會社出張所
中川合資會社 青森郵船合資會社 八戶港運輸會社
栗林商會 三ツ輪運輸株式會社
阿彌豐商店 大島回漕店 佐野回漕店 星野回漕店
工藤回漕店 由利回漕店 村上回漕店 時田回漕店
藤都汽船株式會社 株式會社北二組 增毛運送社
村田回漕店 村田回漕店 樺太運輸株式會社
富內運輸商事會社 高橋回漕店 大鋸回漕店
大湊港 奥寒港 駅前



九 祐 北

丸　　譯



九 愛

九 義 寶

社
船
一
覽
表

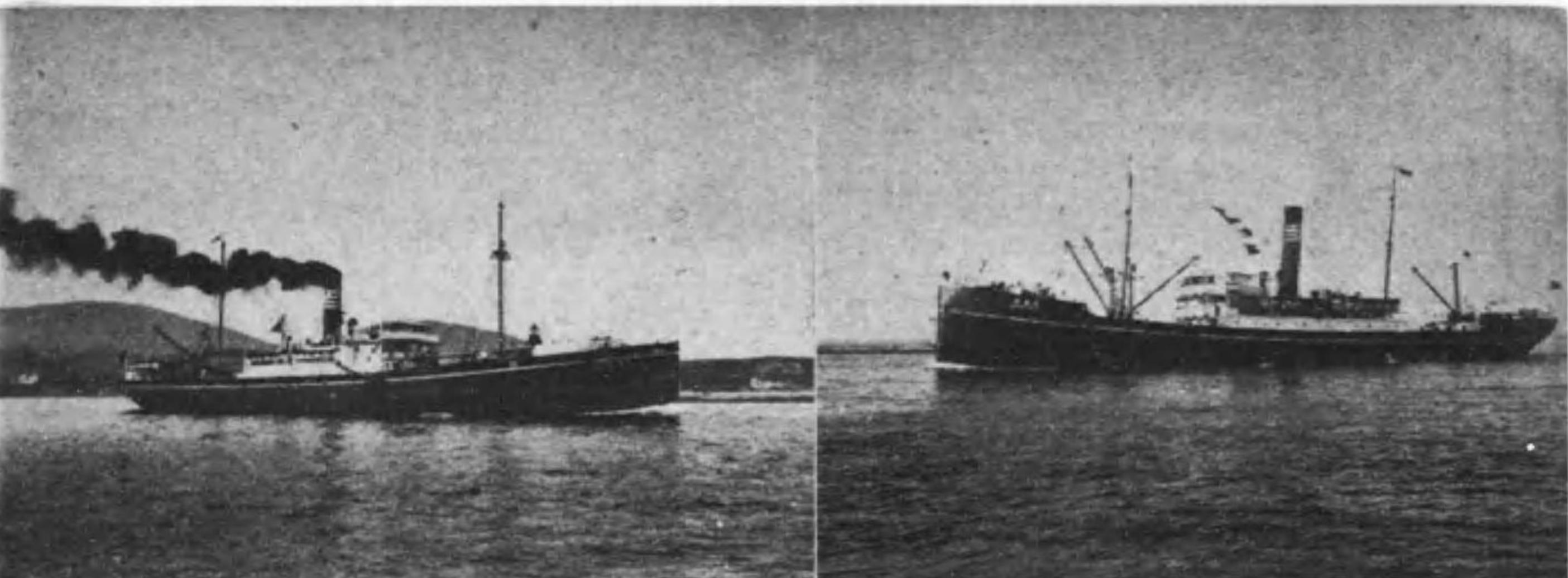
京	都	大丸支店內		
都	京都驛內、大丸內、市設觀光案內所內、都ホテル內、京都	京都驛內、大丸內、市設觀光案內所內、都ホテル內、京都		
大	阪	安土町、三越內、大丸內、		
阪	鮮滿案內所內、松坂屋內、新大	阪	安土町、三越內、大丸內、	
山	阪	三ノ宮驛內、大丸內	山	安土町、三越內、大丸內、
京	尾原吳服店內	天滿屋內	京	安土町、三越內、大丸內、
城	福屋內	鮮滿案內所內(驛前)	城	安土町、三越內、大丸內、
壩	玉屋內、松屋內	鮮滿案內所內	壩	安土町、三越內、大丸內、
所	玉屋內	玉屋內	所	安土町、三越內、大丸內、
內	臺場町(驛前)	福屋內	內	安土町、三越內、大丸內、
三	千德內	玉屋內	三	安土町、三越內、大丸內、
中	山形屋內	玉屋內	中	安土町、三越內、大丸內、
非	三越內	玉屋內	非	安土町、三越內、大丸內、
吳	釜山驛構內	玉屋內	吳	安土町、三越內、大丸內、
服	三中井吳服店內、釜山驛構內	玉屋內	服	安土町、三越內、大丸內、
店	三中井吳服店內	玉屋內	店	安土町、三越內、大丸內、
內			內	



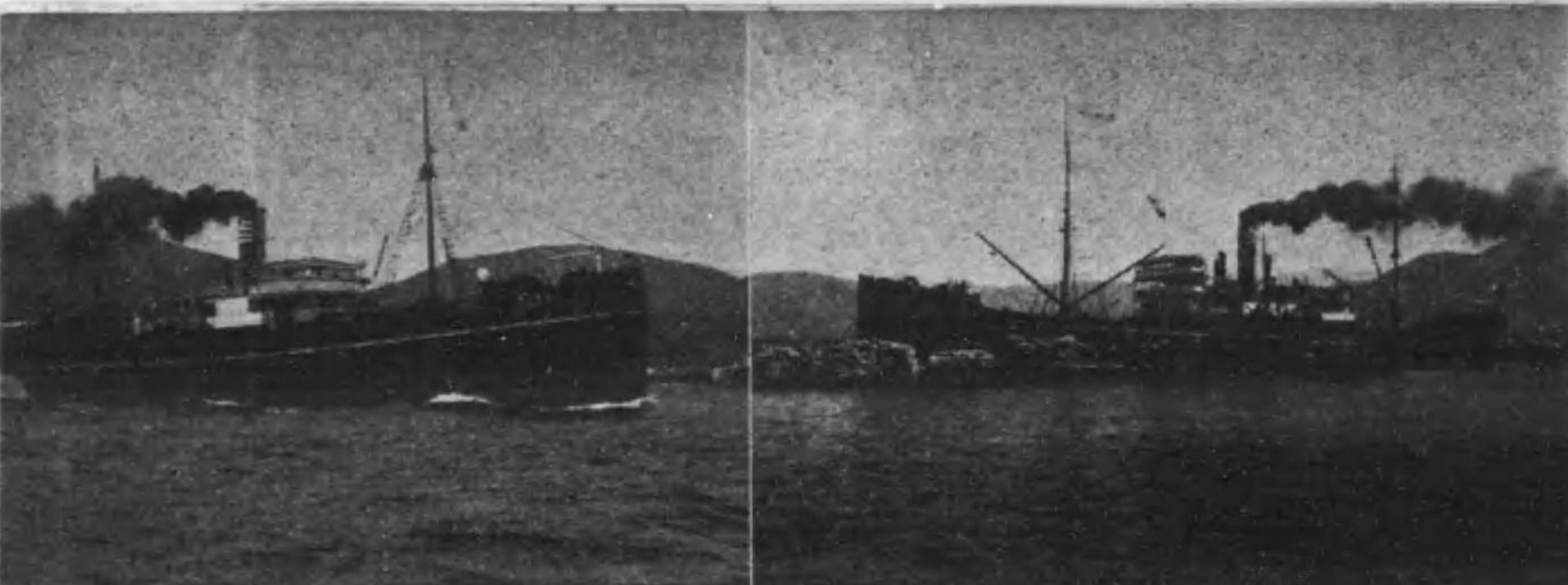
自昭和十一年四月
至昭和十二年三月

三三八

北日本だより



朝鮮丸登呂能能丸



朝鮮丸能能登呂丸

〔四月〕 大阪商船會社の小樽、釧路、根室、留萌及大泊代理店を引受く。釧路（三ツ輪運輸會社）及根室（阿彌商店）に代理店を新設す。北祐丸を備船し雄基恵須取線定期に使用す。小樽本社電報受信略號（オタルキタニホンキセン）の外に（オタルセウセン）を登録し商船代理店事務に使用す。三月廿五日より五月十三日迄、四日市市に開催せらる國產振興四日市大博覽會及四月十五日より六月八日迄、富山市に開催せらる日滿產業大博覽會に船舶模型其他を出陳す。

〔五月〕 愛德丸にヘビーデリック（十五噸）を新設す。榮福丸の右舷ブルワーケ一部を切取り舷門を新設す。

〔六月〕 大泊代理店を樺太運輸會社（舊西谷海運會社）に變更す。新造船北洋丸（件名別項参照）は十五日浦賀に於て受渡を爲し廿一日大阪發定期より大阪小樽樺太線に定期就航す。北洋丸新造記念として最新極東地圖を作成し一般希望者に分譲す。紅海丸船員室改造の爲め總噸數一、二六九噸一（舊一二六六噸八四）純噸數七三二噸三六（舊八五〇噸九七七）に變更さる。

〔七月〕 南京丸船員室改造の爲め純噸數一八六三噸一〇（舊一八六六噸五七）に變更さる。

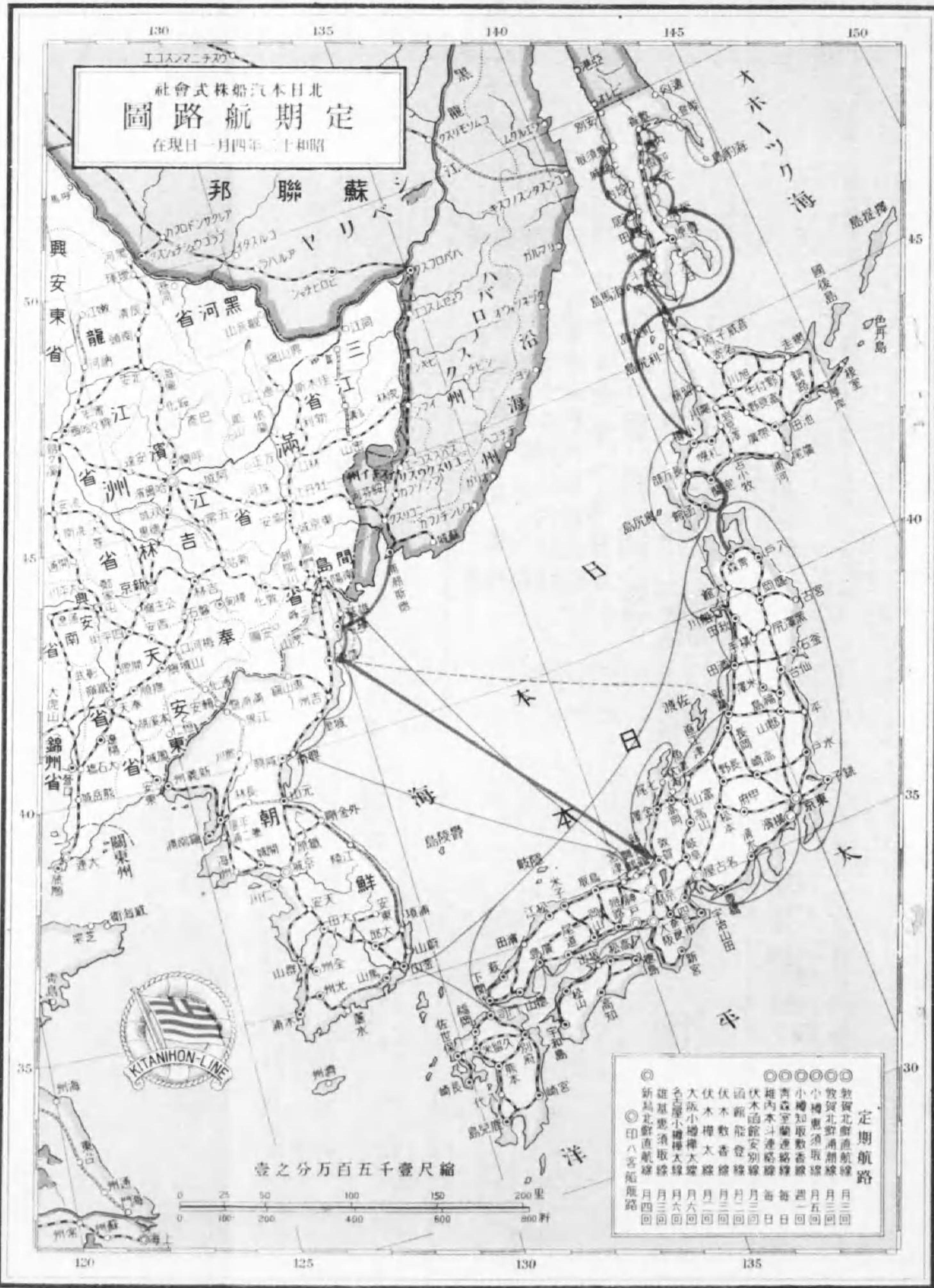
〔八月〕 八月十一日より廿五日迄、大泊港に開催せらる樺太始政三十年記念樺太拓殖共進會へ航路模型及船舶模型等を出陳す。樺太始政三十年記念として最新樺太地圖を作成し一般希望者に分譲す。

〔九月〕 江原道三陟港へ代理店（北鮮商船組出張所）を新設す。神愛丸備船契約を向ふ一ヶ年繼續す。滿鮮主要驛揭載の日滿連絡航路廣告期限満了に付向ふ一ヶ年新契約し新ボスターと取換ふ。

- 〔十月〕 十六日浦賀船渠に於て第二新造船の起工式を舉行す。廿三日監査役多羅尾源三郎氏辭任せらる。
- 〔十一月〕 定期株主總會の結果資本金五百萬圓に增加することとなる。監査役に栗林徳一氏當選就任せらる。重量二八〇〇噸、速力十一浬以上の貨物船を函館船渠會社に注文新造することとなる。
- 〔十二月〕 一、二日兩日第七回代理店、在勤員打合會議を小樽本社に於て開催す。十四日函館船渠に於て第三新造船の起工式を舉行す。名好港代理店を名好共立回漕店（名好共同回漕店）に變更す。昭和十二年新年用ボスター「拓け海」標題のもとに大（菊全）小（四六・四切）二種五萬五千枚作成し、全國及滿洲關係官公署、荷主、旅館等へ配付す。
- 〔一月〕 神壽丸備船契約を向ふ一ヶ年間繼續す。三國丸船員室客室、船庫等改造の爲め旅客定員、一等四人（舊四人）二等二十人（舊二十四人）三等七人（舊七三人）に變更され、純噸數も五五九噸五三（舊五六一噸〇九）重量噸數一、一三〇噸（舊一、一八〇噸）に變更さる。青龍丸四番掲貨機（四噸）一基增設す。
- 〔二月〕 滿洲丸ブーム五噸捲二本を兩舷十噸捲に改造す。九日浦賀船渠に於て第二新造船を「北昭丸」と命名し進水式を舉行す。函館船渠に於て新造船中の第三船を「立山丸」と命名す。
- 〔三月〕 北陸汽船會社より北祐丸、大阪商船會社より壹岐丸を購入す。三月十五日より五月卅一日迄名古屋に開催せらる名古屋汎太平洋平和博覽會に船舶模型其の他を出陳す。
- 故陸海從業員の慰靈祭を執行し、引續き會社創立二十三年記念祝賀會を開催す。

以上





北日本汽船會社の創立と其の進程

當社は明治卅七八年戰役に依り新に我領土に入つた南樺太と北海道間との諸航路が相錯落して樺太廳受命線に統一を見難き状勢にあつたのを時長官平岡氏の慇懃に依り大正三年三月關係各船主を合同して資本金壹百萬圓の新會社を組織し社名を北日本汽船會社と定め同長官の希望に依り本社を樺太大泊町榮町濱通り廿一番地に本營業所を小樽市南濱町四丁目壹番地に設けました。

當時大阪商船會社其他の關係船主より繼承した船舶は大禮丸、見丸、吉辰丸、筑後川丸、天佑丸、幸成丸の六隻で航路としては小樽泊居線、函館安別線、函館散江線の三線に過ぎなかつたが翌四年には青森室蘭線、伏木樺太西海岸線の二線を加へ爾來幾多の辛酸を嘗め厄難に耐えて漸次船舶の保有を増し經營航路を擴充して今日に至りました。

現下資本金五百萬圓、所有船舶卅二隻、重噸八萬九千噸餘、備船二隻、重量一萬一千餘噸、計三十四隻、重量十萬噸、定期航路十三、四線に及び社礎漸く固からんと致します。之れ一重に關係官廳の御庇保と各地大方の御支援の賜物で感佩措く能はざるものがあります。聊か創立以來の概歴を誌し併せて今後益々奮勵努力し一意「海運報國」に精進せんことを期します。

昭和十二年版（改訂第二卷）
北日本〔定期航路案内〕

昭和十二年三月一日編輯
昭和十二年五月一日發行

〔非賣品〕

編輯者	田邊 隆
編輯者	小樽市南濱町四丁目八番地
編輯者	中西 吉之
印刷所	札幌市南大通西五丁目一番地
印刷所	中西寫眞製版印刷所
發行所	北日本汽船株式會社

お願ひ

各地のお國自慢や、名勝地等を詠んだ有名な和歌、俳句、詩等や、旅で拾つた面白い話等を御投稿願ひます。また各地紹介の意味に於て各地景勝地及び風俗寫眞等を蒐集して居りますから、御寄贈賜はらんことをお願ひ致します。



北日本汽船會社の創立と其の進程

當社は明治卅七八年戰役に依り新に我領土に入つた南樺太と北海道間との諸航路が相錯落して樺太廳受命線に統一を見難き狀勢にあつたのを時の長官平岡氏の懲懲に依り大正三年三月關係各船主を合同して資本金壹百萬圓の新會社を組織し社名を北日本汽船會社と定め同長官の希望に依り本社を樺太大泊町榮町濱通り廿一番地に本營業所を小樽市南濱町四丁目壹番地に設けました。

當時大阪商船會社其他の關係船主より繼承した船舶は大禮丸、二見丸、吉辰丸、筑後川丸、天佑丸、幸成丸の六隻で航路としては小樽泊居線、函館安別線、函館散江線の三線に過ぎなかつたが翌四年には青森室蘭線、伏木樺太西海岸線の二線を加へ爾來幾多の辛酸を嘗め厄難に耐えて漸次船舶の保有を増し經營航路を擴充して今日に至りました。

現下資本金五百萬圓、所有船舶卅二隻、重量八萬九千噸餘、備船二隻、重量一萬一千餘噸、計三十四隻、重量十萬噸、定期航路十三、四線に及び社礎漸く固からんと致します。之れ一重に關係官廳の御庇保と各地大方の御支援の賜物で感佩措く能はざるものがあります。聊か創立以來の概歴を誌し併せて今後益々奮勵努力し一意「海運報國」に精進せんことを期します。

北日本「定期航路案内」

北日本〔定期航路案内〕

昭和十二年版 (改訂第三卷)

和十二年三月一日総輯
和十二年四月二十日印刷
和十二年五月一日發行

發行者 小樽市南濱町四丁目一番地

編輯者 田邊貞造

小樽市東雲町五十六番地

編輯者 森田初三郎

小樽市綠町四丁目八番地

編輯者 畠中隆輔

札幌市南大通西五丁目一番地

印刷者 中西吉之助

札幌市南大通西五丁目一番地

印刷所 中西寫真製版印刷所

小樽市南濱町四丁目一番地

發行所 北日本汽船株式會社



純 G 潤
國 T 滑
產 C 油

デーゼルエンジン
タービン
ステームシリンドラ
マリシンエンジン
エアーコムプレッサー
モビール
アイスマシン
スビンドル
モーター及ダイナモ
絶縁
カワグリース
ボール及
ローラーベアリンググリース
ギアーグリース
其他の潤滑及油脂一切

合資會社 田中源太郎商店

大阪營業所 大阪市北區樋上町 電話北(36) 二五六六
東京營業所 東京市九ノ内郵船ビル 電九(23) 三五六七
札幌營業所 札幌市北二條西三丁目 電話 札幌三二八二
小倉營業所 小倉市米町一—三 電話 小倉一一八三
神戶出張所 神戶市神戶區明石町 明海ビル 電話三宮(3)五五七〇

赤尾無線電機商會

振替四〇座
尾正雄
五八五番

山日松マ船船
木下ツ船舶
中電ナ
テ池シタ電無
樽市
レ湯ヨラ機
ビ浅ナ
ア蓄ル
ン池品
電製ブ耗
信
特代
約各一
稻穂
約約理
店店店種類
町

手宮回漕所
電
受信客號
振替四〇座
小樽市手宮
電話八六六
大町三六
番目
一五
五〇
九三
ウ七
番番番

E通 E
國際通運株式會社 小樽支店

小樽市稻穂町五丁目五番地

海軍省指定工場

株式會社
阪鐵工所
大造機
橋梁
造船
車輛
渠



鐵道省指定工場

工場番號	總長	Sill上サ	渠部口ノ幅	渠部下幅	盤木上ニ於ケル面ノ深さ
櫻島	1 684'-0"	658'-10"	75'-10"	71'-7"	21'-0"
築港	2 438'-0"	420'-0"	57'-0"	57'-0"	20'-3"
因島	3 346'-0"	338'-0"	46'-6"	43'-0"	17'-0"
同	4 462'-0"	459'-4"	59'-0"	55'-0"	20'-6"
同	5 154'-0"	148'-0"	32'-0"	28'-6"	18'-6"
同	6 421'-0"	414'-0"	57'-0"	51'-0"	20'-6"
同	7 300'-0"	291'-0"	42'-0"	38'-0"	16'-6"
彦島	8 223'-0"	218'-0"	37'-6"	29'-0"	15'-0"
同	9 294'-0"	287'-0"	55'-0"	50.-0"	20'-6"

本社 櫻島工場
東彦築島工場
神戸事務所
東京事務所
下關市江ノ浦町
大阪市大正區船町
廣島縣御調郡土生町
電話佐賀 (三〇〇〇九)
電話長崎 (四三三三二)
電話長崎 (九〇一)
電話長崎 (四三三三二)
電話長崎 (九〇一)
電話長崎 (四三三三二)
電話長崎 (九〇一)

凸版印刷株式會社
満洲駐在員事務所
大阪分場
小石川紙器工場
東京市下谷區二長町二番地
東京市本所區厩橋一丁目二十七番地
電話下谷 (83) 一九一一番一一九番
電話小石川 (43) 二二〇三番二四五番
電話小石川 (85) 二二〇三番二四五番
新紀電話 (43) 三一五五・三一五六・三一五八番
新京千鳥町一丁目十一番
五五七〇番地
大阪市西淀川區大仁西二丁目二番地
電話福島 (43) 三〇八八番七三六番四二二番
電話福島 (85) 三〇八八番七三六番四二二番
番地

(一) 浦賀船渠株式會社 (一)

社長 寺島 健
本社 東京巣鴨町區丸ノ内一ノ六

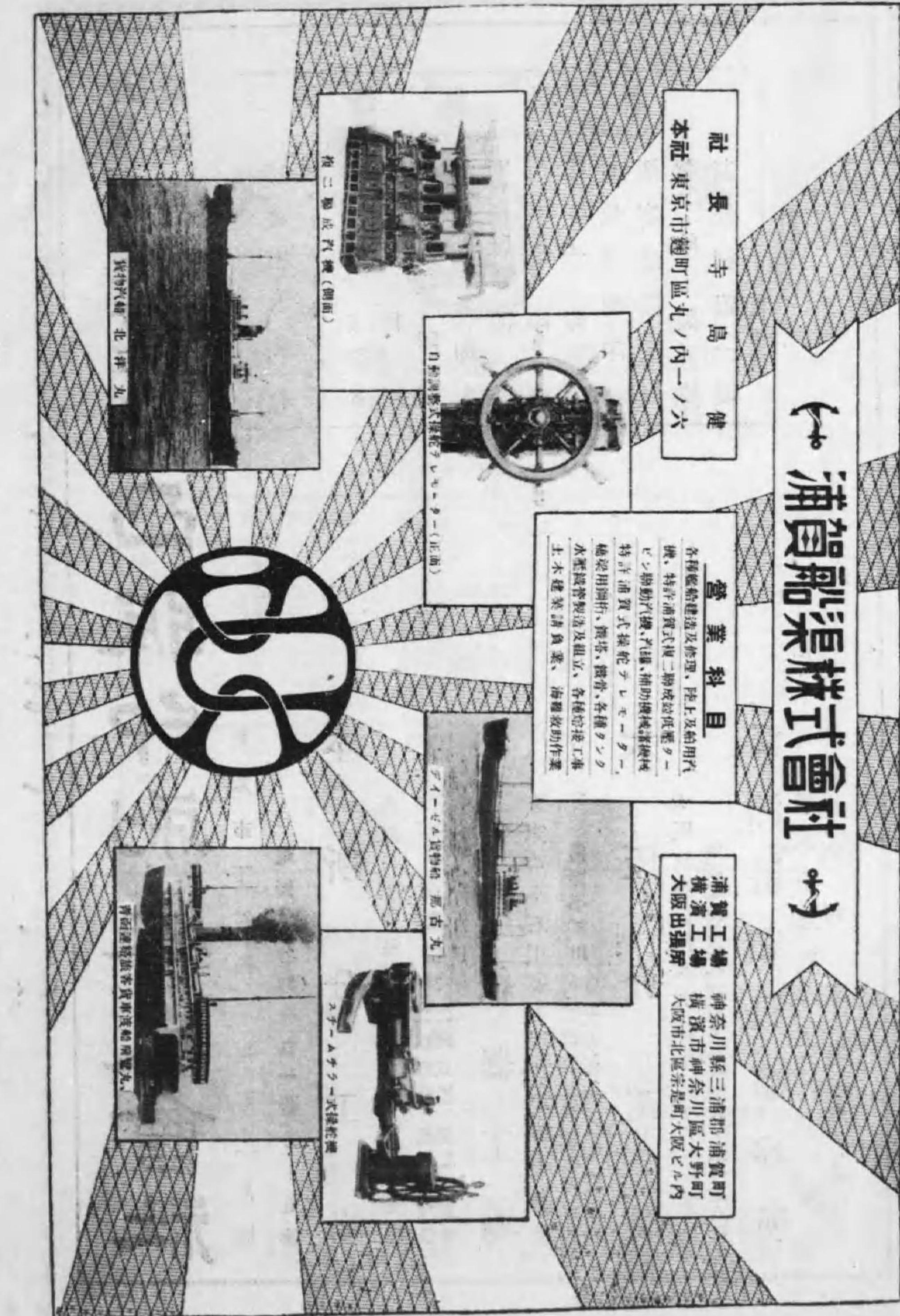
營業科 目

各種船舶建造及修理、陸上及船用汽
機、特許浦賀式複二聯或三聯低壓タ
ーピン船動汽機、汽錶、補助機械等

特許浦賀式操舵テレモーター、
操舵用鋼索、鐵索、鐵骨、各種タンド
ク、水壓設管及組立、各種船接工事
土木建築請負業、海港救助作業

浦賀工場
横濱工場
大阪出張所

神奈川縣三浦郡浦賀町
横濱市神奈川區大野町
大阪市北區宗是町大阪ビル内



株式 會社 三菱銀行小樽支店

小樽市色内町八丁目

資本金 壱 億 圓
諸積立金 五千四百八拾五萬圓

電話 一三三
一一〇 二〇〇 二二二
振替貯金口座 小樽三九九番 番番番

砂川炭 又張炭 井美噴炭 幌内炭

社會式株船汽礦炭道海北
社會式株山礦井三
社會式株產物井三

所炭賣道海北

川旭・幌札・館幽・蘭室・樽小



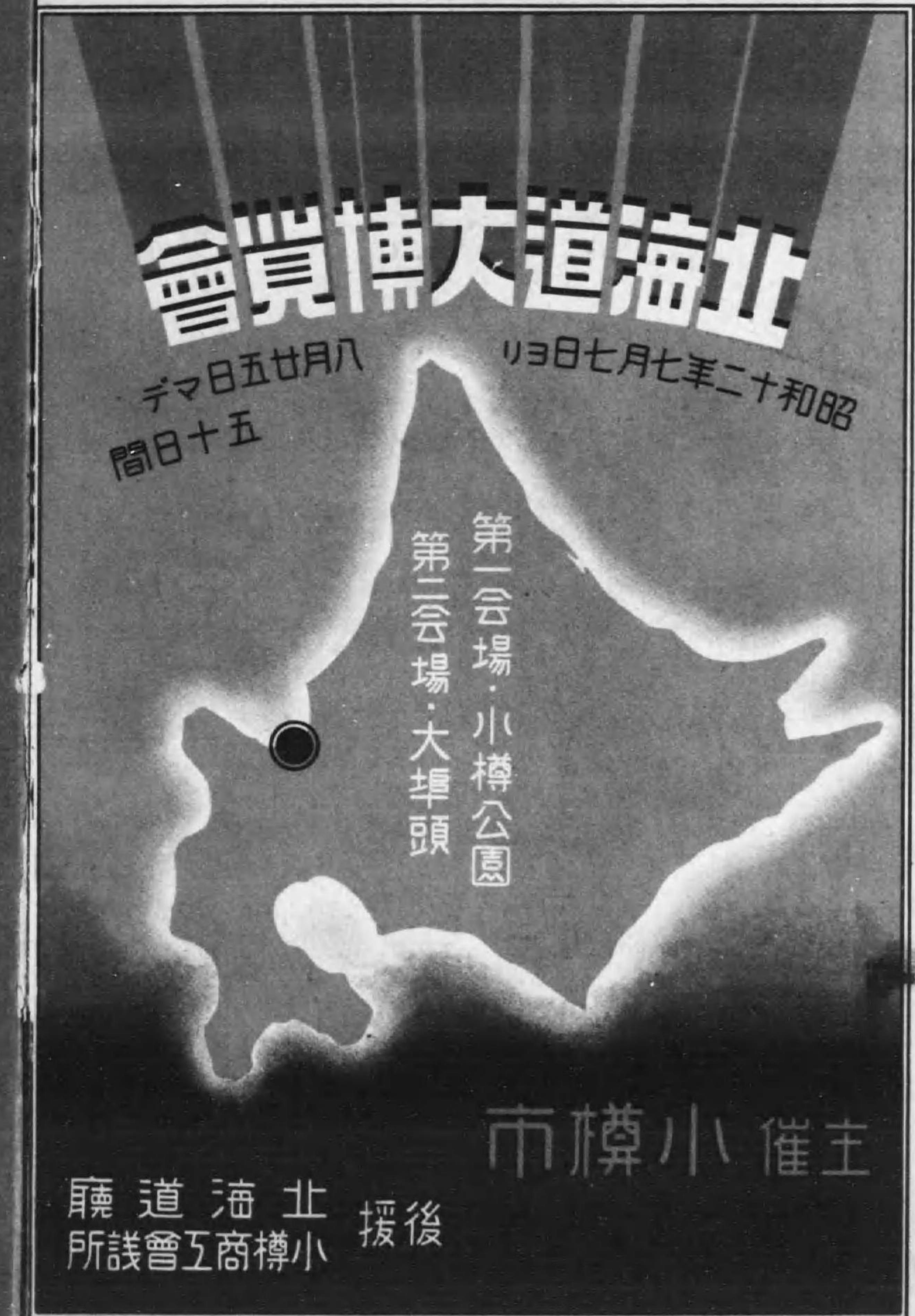
三菱鑛業株式會社小樽支店

電話代表番號三一〇〇番

營業所 小樽、室蘭、函館、釧路、札幌、留萌
青森、船川、仙臺、大湊、酒田

小樽市色内町八丁目三番地

THE "KITANIHON"



北日本「定期航路案内」

14.5
672

終

